

3人4脚



H 30. 7/20(金) 第5号
二宮西中学校学校だより
発行者:和田 智司

夏休みこそ分岐点!!

～計画なくして成功なし～

“おもしろうて やがてかなしき なつやすみ”・・・何度経験しても、意気込んで迎えながらむなしく去っていくのを見送る。そして後には追いつめられた忙しさだけが残ってむやみに寂しい秋を迎える。このような残念な夏休みを送る人もいます。

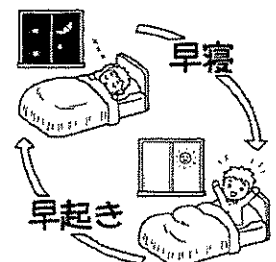
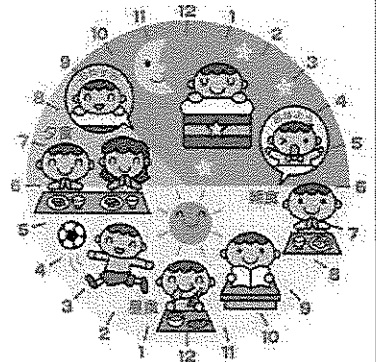
しっかりとした無理のない計画を立てることこそ夏を制するための第一歩です。子ども達には「夏休みの生活(計画と実践)」を配布してあります。39日間の長期にわたる計画を自分自身で立てようご指導していただけますようお願いいたします。充実した夏休みを送るためのポイントは次の2つであると私は考えています。

① 具体的な目標を持たせる。

*夏休みを充実させるために、柱になる目標をしっかりと持たせる。

② 早寝早起きを心掛けさせる。

*朝寝坊は大敵、生活習慣の乱れは起床時間から始まる。



観点別の評価をよくご覧ください・・・

～自らが自分を振り返られるアドバイスを～

個々面談で1学期の成績をご確認いただきましたが、成績というどうしても各教科の1～5の評定に注目が集まり、結果主義になりがちです。しかし、子ども達の成績は、この1学期間の積み重ねであるわけです。教科ごとに、観点別の評価が出ていますので、ぜひ教科ごとの観点に目を向けて良かった点、改良すべき点を子ども自らが反省し、2学期に活かせるようなアドバイスをお願いいたします。

なお、本日お渡ししました通信票の中に「**学習の状況をご覧いただくにあたって**」が入っています。(1)【観点別学習状況について】、(2)【評定について】(3)【総合的な学習の時間への取り組みについて】、(4)【学校生活をふりかえってについて】、の4つの見方が記載されていますので、ぜひともご一読ください。

また、この1学期間の生活面にしっかりと目を向けることも大切です。学校での様子、家庭での様子を互いに情報交換し合い、お子さんの良いところを見つめ、その良いところを励まし伸ばしてあげられるようにすることが有効な手立てであると思います。



夏休みは本格的な「ノーチャイム生活」です。何でもいいですから、「これだけはやった。」と思えるような具体的な柱をお子さんと共に考えて下さい。もちろんその柱は子ども自身が考えた柱でなければすぐに折れてしまいます。よきアドバイスをお願いいたします。また、この1学期間、無欠席だったとしたら、それはとてもすばらしいことです。ぜひ、ほめてあげていただきたいと思います。

さらに一層…自らを磨いてほしい!!

～負けないことは立派なこと…負けたことに負けないのはなお立派なこと～

6/30(土)から中郡中学校総合体育大会が始まりました。暑い中、生徒たちは母校のユニフォームを着て、最後まで諦めることなく健闘しました。各部の結果を紹介します。

◎野球部 第2位 ★ ◎バレーボール部 第4位 ★ ◎サッカー部 第4位

◎男子バスケットボール部 第3位 ◎女子バスケットボール部 第2位 ★

◎ソフトテニス部 男子団体戦 第2位★ 女子団体戦 第3位★

男子個人戦 朝倉・松本ペア ベスト8 ★ 黒石・西山ペア ベスト18 ★

茂木・西田ペア ベスト16 ★ 藤原・渡辺ペア ベスト18 ★

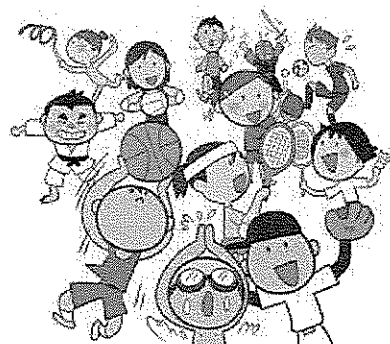
女子個人戦 三田・渡辺ペア ベスト16 ★ 山田・宮原ペア ベスト16 ★

山本・田代ペア ベスト16 ★

◎ソフトボール部 第2位 ★

【順位の後ろに★のマークが付いているものは、中ブロック大会へ出場します。】

中ブロック大会に出場できる選手は、出場できない選手の分まで頑張っただけだと思います。・・・以前、私の剣道の先生から「負けないことは、立派なこと 負けたことに負けないのは、なお立派なこと」という言葉を教えていただきました。今回の大会は、言うまでもなく、子どもにとっては人生の通過点の大会です。今回負けてしまったことを今後にいかにかけるか。が本当の意味での勝負です。「なお立派なこと」を目指して、さらに一層自らを磨いてほしいと願っています。



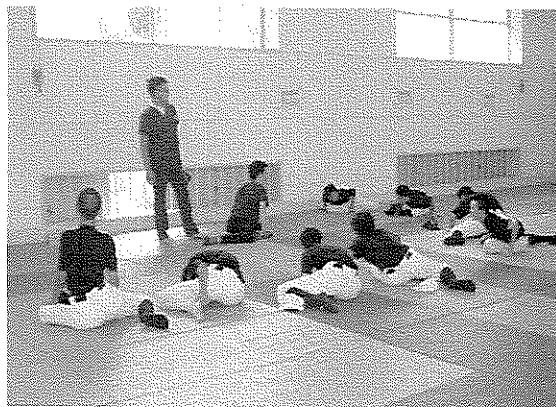
※7/15(日)の中ブロック体操大会において、1年の平石さんが男子個人総合で6位に、2年の清水さんも女子個人総合で同じく6位に入りました。おめでとうございます。

しっかり実践し、けがの予防に努めて欲しい

7/11(水)と12(木)の2日間、武道場にて全ての部活動を対象に、「理学療法士による準備体操・整理体操実技研修会」が行われました。これは、本校の学区内にある井上整形外科さんから申し出があったもので、身体の専門家である3名の理学療法士(平野さん、兵頭さん、永澤さん)を無料で講師として派遣してくださいました。

骨は体の成長とともに自然に伸びるが、筋肉は自然には伸びない。だからストレッチが必要である。というストレッチの必要性から話が始まりました。さらに、ストレッチには、静的ストレッチ(静かなストレッチ)と動的ストレッチ(動きのあるストレッチ)の2つがあり、まずは静的ストレッチから始めることが大切である。という話がありました。

その後の実技では、和気あいあいと楽しみながら、しっかりと真剣に取り組んでいました。今回の研修で学んだことを今後の部活動でしっかりと実践し、けがの予防に努めて欲しいと思います。



※7/18の朝、各教室を回った時のことです。前日にワックスがけを行ったため、廊下に出ているクラメイトの机いすを整美委員の人たちが、汗をかきながら黙々と教室に運んでいました。・・・Mさん、Wさん、Hさん、Oさん、Kさん、ありがとうございました。その姿に感激しました。・・・人はみな、誰かに支えられ、誰かを支えている。(智司)